

平成20年度筑紫野市補助金交付団体における男女共同参画に関する調査結果

I 調査の概要

【調査目的】

「筑紫野市男女共同参画推進条例」第10条に基づき、市の補助金交付団体における男女共同参画の推進状況を把握し、今後の取組の資料とするものです。

【調査対象】

筑紫野市より補助金交付を受けている団体

【調査方法】

補助金交付団体の担当課を通して調査

【調査団体及び回答数】

- ①調査団体 36団体 ②回答数 35団体
③回答率 97%

【実施時期】

平成20年7月～8月

【調査実施担当課】

総務部男女共同参画推進課



II 調査結果

1 団体の会員数について（質問1）

①男女別会員の内訳

それぞれの団体の組織規模、状況により、下表のように4つの区分に分けました。
男女別会員数が把握できている団体は35団体のうち、19団体（54.3%）でした。

分 類	団体数	割 合
1 男女別会員数が明確な団体	19	54.3%
2 男女別会員数が不明確な団体	11	31.4%
3 女性会員のみの団体	2	5.7%
4 男性会員のみの団体	3	8.6%
計	35	100.0%

② 男女別会員数

男女別会員数が明確な団体では、会員数に占める女性の割合は41.8%ですが、役員数に占める女性の割合は27.3%となっています。

(平成19年度は、会員数に占める女性の割合は51.0%で、役員に占める女性の割合は30.6%)

また、男女別会員数が不明確な団体においては、役員に占める女性の割合は、33.9%となっています。(平成19年度は18.0%)

分類	団体数	会員数			役員数		
		女性総数	男性総数	女性の割合	女性総数	男性総数	女性の割合
1 男女別会員数が明確な団体	19	4,788人	6,678人	41.8%	75人	200人	27.3%
2 男女別会員数が不明確な団体	11	-	28,923人		81人	158人	33.9%
3 女性会員のみの団体	2	155人	-		13人	-	-
4 男性会員のみの団体	3	-	160人		-	19人	-
計	35						

単位：団体数

2 役職の男女別について（質問2）

会長等代表職に女性が就いている団体は13.3%（30団体中4団体）です。また、副会長及び会計職については、会長職よりは女性が就いている割合が高くなっていますが、男女別で見るとやはり男性の比率がかなり高い。

単位：団体数

	女性（のみ）	男性（のみ）	男女両方	置いていない	無回答	計
会長	4	26	0	0	0	30
副会長	3	18	8	1	0	30
会計	9	13	1	7	0	30

※ 会員が女性のみ又は男性のみの団体（5団体）については、質問2については聞いていませんので、この集計には含まれていません。

ひとくちコメント

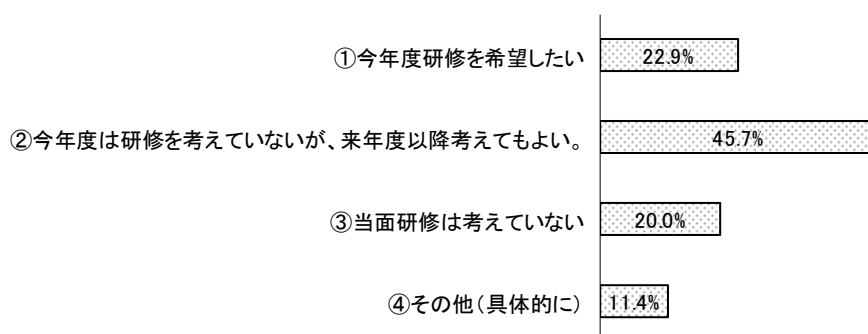
女性が男性とともに、団体の役員を担うためには、男女の意識改革と女性の人材育成が必要ですね。

3 男女共同参画研修について（質問3）

研修

質問3では、団体における男女共同参画を推進するために、団体に対し講師派遣等をし、男女共同参画に関する研修をお願いしています。

今年度中に研修を希望する団体が全体に占める割合の22.9%であり、来年度以降を考えてもよいと回答した団体が45.7%あります。



ひとくちコメント

研修を考えても良いと回答した割合が半数近くあったので、今後に期待できそうです。